

わが社のお宝



紫舟作の「瀧昇鯉図」屏風

作者は女流書家で大阪芸術大美術学科教授の紫舟氏。2010年1月から放送されたNHK大河ドラマ「龍馬伝」の題字を担当し、2014年末、フランス国民美術協会サロン展で最高賞を受賞するなど国際的に活躍する。

2016（平成28）年当時、会社の業績が悪化したこともあって運気を上げるため紫舟氏に依頼して作成、購入した。

高さ175・5センチ、横幅370・5センチの金箔屏風。鯉がはねた絵に以下の句がしたためてある。

「こいこい のぼる しょうぶにたつる
たつたつ ながるる はれはれ のぼる
あっぱれあっぱれ にほんばれ」

梶社長は「この書画を本社応接室に飾ってから会社の業績がかなり良くなった」とご利益を語る。

カジグループの コーポレートミッション



かつて「繊維王国」と呼ばれた石川県は合繊繊維の一大産地だったが、斜陽産業となつて淘汰され、現代は優良企業のみ存続している。このK F Pを自社P R施設に留まらず、「日本の繊維を元気にする」という壮大な

繊維のイメージも採り入れたK F P外観



自社開発のブランド品などのショップ



79 KAJI-Fの金箔パネル



自社の繊維を使った衣類の展示



カフェレストランも併設

梶 政隆3代目社長



梶政隆（かじ・まさたか）氏略歴

1968（昭和43）年9月生まれ。金沢市出身。1991年中京大社会学部卒業後、大手総合商社の大阪アパレル営業部門に6年勤め、1997年にカジグループに入社。代表取締役専務を経て2010年10月に代表取締役社長に就任。金沢市在住。



K F P開設祝いテープカット、バレーボールSVリーグ女子のPFUブルーキャッツ石川かほくの選手も参加



いしかわ長寿企業の真髄を探る

題字：阿部豊寿
（石川県書美術連盟理事）

創業91年 カジグループ

日本海側の砂丘地、石川県の口能登に位置するかほく市大崎に4月10日、カジグループの梶政隆社長（56）の念願だった「KAJIFACTORY PARK」（カジファクトリーパーク、以下K F Pに略）がオープンした。

カジグループは、1934（昭和9）年に繊維機械を製造する「梶製作

日本最大級の産業観光施設 カジファクトリーパーク開設

の様子が一望できる。

加えて世界一細い糸や自社ブラン

て手掛ける石川繊維業のリーディングカンパニーである。

K F Pはカジレーネの敷地に約65億円超を投資して整備。2階建て、延床面積は約1万1千200平方メートル。カジレーネの現有繊維250台に加え、昨年11月から160台を増設して稼働していたが、一般の人も無料で見学できる施設完成により、館内2階からそ

カジグループの概要

- ・創業 1934（昭和9）年4月
- ・資本金 5億円（グループ計）
- ・役員 梶富次郎会長、梶政隆社長
- ・グループ従業員 380名
- ・本社 金沢市梅田町ハ48番地
- ・カジファクトリーパーク かほく市大崎ヲ102-1



- ・事業内容 繊維機械製造、糸加工・織物製造販売
- ・グループ企業 カジナイロン㈱、カジレーネ㈱、カジニット㈱、㈱梶製作所ほか
- ・事業所・工場 金沢市梅田町、かほく市高松、同市大崎、東京都南青山、中国江蘇省、インドネシア

ド「K-3B」や「TO&FROM」の生地「KAJIF（カジフ）」の特徴を触って体感できるコーナーも設けられた。両ブランドの旗艦店が入り、輪島塗など北陸の工芸品を扱うセレクトショップ、ブドウや豚肉など地元の食材を使うカフェやレストランも併設された。繊維関係では日本最大級の産業観光施設と言つて過言でない。

なミッションを果たすシンボルにしたい考で、キャッチコピーを館内に掲示する。

K F Pの外観は織物の経糸をイメージし、自社の生地ブランド「KAJIF」のロゴマークの一部で金の元素記号である「79」も大きく表示した。本来は工場内にある「糸掛スタンド」を現代アートのように配置。ワークショップなど体験型観光施設になっている。施設前に一般市民も利用できるよう庭にオリブを植え、桜の木を植樹、遊具も置いて公園を整備した。

「日本の繊維を元気にする」使命に

K F Pの完成祝賀会がオープンに先立つ3月28日、金沢市内のホテル日航金沢で馳浩知事、油野和一郎かほく市長ら石川県の政界や大矢光雄東レ社長、工藤幸四郎旭化成社長、杖村修司北國フィナンシャルホールディングス社長ら経済人など来賓約200人を招いて開かれた。

この会でも梶社長は坂本龍馬にあやかって「日本の繊維を今一度、元気に致したく申し候」と紫舟氏揮ごうの案内書を配って、カジグループのコーポレートミッションをアピールした。

グループ一体で相乗効果

自社ブランド開発

カジグループは、梶政隆社長の祖父・梶政野が1934（昭和9）年に繊維機械の製造業を個人的に始めたのが始まり。1950年に合繊長繊維織物を生産する梶織物（現・カジレーネ）を設立。翌年に繊維機械製造事業を法人化し、株式会社梶製作所に改組した。

その後、事業領域を拡大し、機械事業については、インドネシアや中国江蘇省にも現地法人を設立し、グローバル展開を図ってきた。



KFP内にあるカジレーネの織物工場

2代目の梶富次郎社長の長男である梶社長が1997年に大阪の大手総合商社のアパレル部から金沢に戻った当時、各社がバラバラで事業をやっていた感じで危機感を抱いた。そこでグループ全体のベクトルを合わせるようにした」と述懐する。



梶製作所（かほく市）内の現場

し、機械稼働の振動で発電する装置の開発をはじめ人工血管などカーボンナノチューブなどの新規事業に取り組んだ。

「カジグループには、機械設計グループをかかえ、こんな糸が欲しい」と相談すると、開発メンバーがその場で絵コンテをつくるといった感じでした。組織の風通しが良くなったと感じています」と改革の成果を語る。

開業2週間で4千人入場

元来、KFPの近くには県の西田幾多郎記念哲学館や砂丘地農業研究センター、海と渚の博物館があり、イオンモールかほくがある交通便利な地にある。

KFPのオープンにはグループあげ



カジグループの海外工場

カジグループの沿革

1934年	(株)梶製作所創業
1950年	カジレーネ(株) 創業
1964年	カジナイロン(株) 創業
1972年	カジニット(株) 創業
1995年	インドネシア P.T. Kaji Machinery Indonesia 創業
2005年	中国 江 四 梶泉机械有限公司 創業
2014年	トラベルギアブランド「TO&FRO（トゥーアンドフロー）」スタート
2019年	テキスタイルブランド「KAJIF（カジフ）」スタート
2020年	アパレルブランド「K-3B（ケースリービー）」スタート
2025年	産業観光施設「KAJI FACTORY PARK」オープン

て取り組んだ成果であり、産業観光という地域貢献型事業に社員の士気も高まる。

KFP 開業2週間で観光客を含む4千人が訪れ、5月5、6日の大型連休中には世界一軽い生地で風を作るなどKAJIFを初開催した。激動するグローバル経済にあって、人づくりのモデルケースになりそう

だ。
（文中敬称略、文・大坪信善）